

平成23年度

(第3/3回)

(集団研修)

農村開発のための
畑地帯における農業基盤整備

実施要領

平成23年5月

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

Japan International Cooperation Agency

目 次

1. 案件基本情報	1
2. 背景・目的	1
3. 上位目標	2
4. 案件目標	2
5. 単元目標	2
6. 研修成果品	2
7. 研修員参加資格要件	3
8. 研修実施体制	3
9. 研修の評価	4
10. 研修付帯プログラム	5
11. 主な宿泊場所	6
12. その他	6

参考資料

- 付表－1 研修員関連情報
- 付表－2 研修日程（予定）
- 付表－3 年度別受入実績表

1. 案件基本情報

(1) 案件名

和文：(集団研修) 農村開発のための畑地帯における農業基盤整備

英文：Group Training Program on “Agricultural Infrastructure Improvement in the Fields for Rural Development”

(2) 受入期間

平成 23 年 5 月 16 日 (月) ～ 8 月 6 日 (土)

(3) 技術研修期間

平成 22 年 5 月 23 日 (月) ～ 8 月 5 日 (金)

(4) 受入人数、割当国

受入人数：9 名

割当国：カンボジア、マラウイ、ミャンマー、フィリピン、スリランカ、タイ、ウクライナ (下線は受入国)

(5) 研修類型：人材育成普及型

(6) 使用言語：英語

2. 背景・目的

途上国での農業生産性が低い主な要因の一つが、農業基盤の未整備である。肥沃であっても未整備であるがために、灌漑地の拡大や排水不良地の農地転用が進んでいない。また、傾斜地への無理な作付け等、土壌保全面だけでなく、農地の効率的な利用がなされていない例も多い。整備事業に着手したとしても、計画や設計、施工管理の段階で専門的知識や環境社会配慮が十分でなかった結果、計画通りに通水しない水路、利用されない農業用ため池、工期の遅れ、割高な工費などの問題が生じている。

農業基盤整備（水利事業、農地整備、農地防災等）の分野において、事業計画の立案や設計、施工管理、品質管理を直接実施したり大きく関与する立場にある主任クラスの上級技術者の専門的知識・技術が大幅に不足していることが大きな問題となっており、これについてはこれまで多くの専門家等によって指摘されてきた。そこで本案件では、既往案

件を大幅に見直し、「総合的農業農村開発に提言できる人材育成」から事業に直結する「適切な事業計画・設計方針や技術選択を行える人材層の拡充」を目指すことにした。また、民間コンサルタントや施工業者が十分に育っていない途上国では、事業を直営で実施する公的機関における人材育成が第一に求められている。

3. 上位目標

農業基盤整備事業実施機関の計画立案および設計、施工管理能力が向上する。

4. 案件目標

事業計画および施工管理に関する専門的知識が、農業基盤整備事業実施機関の部署の技師により共有される。

5. 単元目標

- (1) 農業基盤整備事業における法制度、計画策定までのプロセス、事業の実施体制、環境配慮等について、自国の課題を特定できる。
- (2) 技術レベル・経済性・環境社会配慮の観点から基盤整備事業の妥当性を判断できる。
- (3) 農業基盤整備事業における代表的な工法および汎用性が高い専門的知識・技術を説明できる。
- (4) 施工管理や安全対策に係る専門的知識・技術を説明できる。

6. 研修成果品

ア) 本邦研修実施前

「初期計画書 (Inception Report)」の作成

研修の主題にかかる研修員および所属組織の課題や、それに対する現在の組織としての対策・枠組みをまとめ、本邦でのコース開始時に発表する。

イ) 本邦研修終了時

「中間計画書 (Interim Report)」の作成

研修で学んだ知識や技術等を基に活動計画（案）を作成し、コース終盤に発表する。

ウ) 帰国後の事後活動

「最終計画書（Final Report）」の作成

研修員は帰国後、中間計画書に書かれた活動計画（案）を所属組織に報告、関係者と共有のうえ、最終的な活動計画としてまとめ、帰国後3ヶ月以内にJICA帯広に提出する。JICA帯広は同計画書を関係者と共有のうえ、次年度以降に実施される研修に内容をフィードバックし、必要に応じフォローアップを検討する。

7. 研修員参加資格要件

募集要項記載条件

- ア. 畑作農業に関わる農業基盤整備（灌漑排水、農地整備、農地防災）の調査計画、設計、あるいは施工管理、設計管理の経験がある主任技術者。
- イ. 上記分野で3年以上の実務経験を有する者。
- ウ. 50歳未満の者。

各案件共通資格要件

- ア. 所定の手続きにより割当国政府から推薦されること。
- イ. 大学卒業あるいは同等の学力を有すること。
- ウ. TOEFL iBT 72点（CBT 200点／PBT 533点）以上に相当する英語能力を有すること。
- エ. 心身ともに健康なこと。
- オ. 軍に属していないこと。

8. 研修実施体制

本案件は、コースリーダーの助言のもと、独立行政法人国際協力機構帯広国際センター（JICA帯広）が計画するコースの実施に関する業務を社団法人北方圏センター（NRC）に委託し、関係諸機関の協力により実施・運営する。技術研修期間中、財団法人日本国際協力センター（JICE）所属の研修監理員を配置する。具体的業務分担は次のとおり。

(1) JICA 帯広

ア. 実施計画書作成（案件目標、研修期間等）

イ. 評価

ウ. 実施予算の執行管理

エ. 募集要項および実施要領等の作成 等

(2) NRC

ア. 日程表の調整・作成

イ. 講師、視察先等への連絡・確認

ウ. テキスト、資料等の手配 等

(3) コースリーダー

研修の計画、実施、評価の全般にわたる助言 等

(4) 研修監理員

ア. 関係者間の連絡調整

イ. 通訳・翻訳 等

9. 研修の評価

(1) 評価の目的

案件目標（2 頁参照）に基づき、研修成果の測定・分析を通じてコース終了時に当初目標の達成度を確認する。また、今後の研修で改善すべき点をあげ、本案件の質的改善を図る。

(2) 評価の方法

ア. コースリーダー等による単元目標の達成度把握

イ. 研修員が提出する質問票による評価

ウ. JICA による評価

(3) 評価会

研修終了時に質問票の記載事項の確認を中心とした評価会を実施する。

(4) 反省会

研修員の帰国後に、評価結果に基づき JICA 帯広、コースリーダー、講師、NRC、研修監理員が参加し、研修の目標・内容、プログラム構成、指導方法等について協議し、翌年度以降の改善に向けて対応方針を検討する。

10. 研修付帯プログラム

(1) ブリーフィング

来日直後に帯広国際センター（以下 OBIC: Obihiro International Center）で実施する。JICA 業務およびコース概要説明、研修員登録、旅券・査証の有効期間の確認、支給される諸手当の説明等のほか、日常生活を送る上での諸注意を行う。

(2) ジェネラルオリエンテーション

OBIC で実施し、日本の社会と日本人、歴史・文化、政治・行政、経済、教育などを紹介する。

(3) 日本語講習

研修員の日常生活および国際交流のため、簡単な日常会話程度の語学力修得を目的として 10 時間の日本語講習を実施する。

付帯プログラム日程（予定）

日 程	内 容
5 月 17 日（火）	ブリーフィング
18 日（水） 午前	ジェネラルオリエンテーション 講義「日本の政治・行政機構」 講義「日本の社会と日本人、歴史・文化」
午後	ブリーフィング
19 日（木） 午前	ジェネラルオリエンテーション

午後 夜間	講義「日本の教育」 講義「日本の経済」 ブリーフィング 日本語講習
20日（金）夜間	日本語講習
21日（土）夜間	日本語講習

11. 主な宿泊場所

帯広国際センター（OBIC）

所在地：〒080-2470 帯広市西20条南6丁目1-2

Tel (0155) 35-2001 Fax (0155) 35-2213

12. その他

(1) 修了証書

研修を修了した研修員に JICA から修了証書を授与する。

(2) 研修員の待遇

ア. 入国資格

技術研修を受けるために来日する者は研修査証を取得し、滞在中は日本国法規の適用を受ける。

イ. 滞在費

JICA 規程に基づき研修を受けるために必要な手当が支給される。

(3) 国際理解教育

国際理解教育の支援のため、本コースに地域の小中学校の生徒や住民との相互理解のためのプログラムが一部含まれている。

以上



独立行政法人国際協力機構 帯広国際センター
〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1番地2
TEL : 0155-35-1210 FAX : 0155-35-1250
ホームページ : www.jica.go.jp/obihiro/
メール : jicaobic@jica.go.jp

研修員関連情報

研修員情報(英語力はリスニング/スピーキング/読解/記述能力の順に4段階で示す。A:優、B:良、C:可、D:自信なし)

No	①氏名②研修員番号 ③年齢④性別 ⑤国名	①現職②現職期間 ③最終学歴(専攻) ④英語力⑤研修経験	①候補者の業務内容 ②所属先の業務内容	研修で学びたい事項
1	① Mr. KIM Kinal ② D-11-00395 ③ 29 ④ 男 ⑤ カンボジア	① 水資源気象省 Udor Meanchey州水資源気象部 管理事務所 所長 ② 2年(現組織には'99年より勤務) ③ カンボジア専門家大学(経営、修士) ④ BBBB ⑤ なし	① データ収集のための質問表作成 ・灌漑施設におけるデータ収集 ・畑地帯農業基盤整備事業のための調査・設計・計画・施行管理 ・農家水利用委員会の設置とその能力強化 ・計画策定に関する州水資源気象部への指導と、プロジェクトの持続性を確保するためのコミュニティへの指導 ・日々の活動のモニタリング ・内外の部署との連携 ・州水資源気象部スタッフとコミュニティに対する技術研修の実施 ② 灌漑、河川、上水の水資源管理・開発 ・水資源管理 ・データ収集・分析 ・水資源利用計画策定とその実施 ・水資源に対する負の影響緩和のための諸活動と天災対策 ・灌漑施設建設	・調査、計画、施行管理、灌漑排水設計、農地開発防災に関する更なる知識と経験を 得たい ・技術、経済効率、環境の視点に立った基盤整備事業の妥当性の判断 ・農業開発事業における一般的な建設方法、広く適用される技術や専門知識 ・他の研修員の国々における課題(法制、計画策定プロセス、プロジェクト実施システム、環境的配慮など)
2	① Mr. CHUM Song ② D-11-00396 ③ 39 ④ 男 ⑤ カンボジア	① 水資源気象省 Kampot州水資源気象部 水力・気象事務所 所長 ② 4年(現組織には'92年より勤務) ③ 国立経営大学(経営、修士) ④ BBBB ⑤ 「洪水緩和と雨水管理」 MICA(マレーシア) 2009年	① 州水資源気象部スタッフとコミュニティに対する技術研修の実施 ・畑地帯農業基盤整備事業のための調査・設計・計画・施行管理 ・農家水利用委員会の設置とその能力強化 ・計画策定に関する州水資源気象部への指導と、プロジェクトの持続性を確保するためのコミュニティへの指導 ・日々の活動のモニタリング ・内外の部署との連携 ② 灌漑、河川、上水の水資源管理・開発 ・水資源管理 ・データ収集・分析 ・水資源利用計画策定とその実施 ・水資源に対する負の影響緩和のための諸活動と天災対策 ・灌漑施設建設	・農業開発事業における一般的な建設方法、広く適用される技術や専門知識 ・他の研修員の国々における課題(法制、計画策定プロセス、プロジェクト実施システム、環境的配慮など) ・技術、経済効率、環境の視点に立った基盤整備事業の妥当性の判断

No	①氏名②研修員番号 ③年齢④性別 ⑤国名	①現職②現職期間 ③最終学歴(専攻) ④英語力⑤研修経験	①候補者の業務内容 ②所属先の業務内容	研修で学びたい事項
3	① Ms. MTAMBO Matilda Mada ② D-11-00356 ③ 28 ④ 女 ⑤ マラウイ	① 農業・食糧保障省 土地資源保全部 土地資源保全担当官(農家収入多角化プログラム プロジェクトコーディネーター) ② 3年 ③ マラウイ大学(自然資源管理) ④ ABAA ⑤ なし	① ・土地資源の持続的利用を図るための、スタッフとコミュニティに対する技術面・管理面での支援 ・土地資源保全部の年間業務計画作成に対する支援 ・土地資源評価調査の実施と、土地資源保全策の設計 ・土地資源管理に関するスタッフの能力強化 ・定期報告書の作成 ・プロジェクトの年間業務計画と予算の作成・調整 ・プロジェクト予算管理 ・プロジェクトの品質管理 ・全てのスタッフに対する管理・監督支援 ・定期報告書の作成と提出 ② ・土地資源と水管理に関わる政策基準と戦略の開発 ・土地資源・水管理プログラムの計画策定と調整 ・土地資源・水開発に関する情報サービスと技術支援 ・土地資源開発に関する研修の提供 ・土地利用システムのモニタリングと評価	・農地造成・再編事業、農地防災事業の計画策定、設計、実施 ・畑作灌漑水源計画・設計 ・河川防災と土壌浸食対策 ・事業実施と環境対策(生態系を含む) ・農業開発事業設計における地盤調査とその結果の解釈 ・農業用衛星の活用と農業機械の運用 プロジェクトサイクルマネジメント
4	① Mr. MYO Zaw Win ② D-11-00589 ③ 36 ④ 男 ⑤ ミャンマー	① 農業・灌漑省 水資源利用部 地下水課 職員(技師補) ② 3年(現組織には'99年より勤務) ③ ヤンゴン大学(リモートセンシング・地理情報システム ディプロマ) 学士専攻:地質学 ④ BBBB ⑤ なし	① ・地下水、揚水灌漑開発・管理、ならびにヒ素影響緩和を含む飲料水供給活動への技術支援 ・Pyawbwe-Yemethin地域における地下水灌漑開発を担当している ② ・河川からの揚水と地下水の利用による灌漑水の供給 ・掘りぬき井戸と水道管網による安全な飲料水の供給 ・山岳地帯や辺地における湧水を利用した灌漑水や飲料水の供給 ・ドリップ灌漑、スプリンクラー灌漑の効果的利用に関する知識と方法の普及	・揚水灌漑による農業開発がもたらす農村発展 ・農村開発によりもたらされる灌漑水、家庭用水、衛生
5	① Mr. CLARA Francisco Julian ② D-11-00294 ③ 45 ④ 男 ⑤ フィリピン	① 国家灌漑庁 地域事務所3 水資源施設上級技術者 ② 14年(現組織には'87年より勤務) ③ フィリピン工科大学(土木工学) ④ BBBB ⑤ 「参加的灌漑管理システムに関するフィリピン・ベトナム技術交流」国際協力機構(開催地:ベトナム) 2010年	① ・運転・維持計画と作付計画の作成 ・灌漑水の公平な配分のための計画・監視・モニタリング ・灌漑サービス料金の回収 技師としての業務 ・測量と計画 ・積算 ・施行計画の策定 ・現場での施行監督 ・進捗レポートの作成 ② ・灌漑利用のための水資源調査 ・あらゆるタイプの灌漑プロジェクトの計画・設計・施行・改善	・ここ数年直面している問題を解決し現行のシステムを改善するために、施設の計画・建設・メンテナンスについてさらに学びたい

No	①氏名②研修員番号 ③年齢④性別 ⑤国名	①現職②現職期間 ③最終学歴(専攻) ④英語力⑤研修経験	①候補者の業務内容 ②所属先の業務内容	研修で学びたい事項
6	① Mr. ESPIRITU Jesus Rombaa ② D-11-00295 ③ 49 ④ 男 ⑤ フィリピン	① 国家灌漑庁 運転部 灌漑工学センター 管理技師A ② 1年(現組織には'98年より勤務) ③ Tarlac農業大学(農業工学) ④ BBBB ⑤ なし	① ・ダムや貯水池の現状モニタリング・予測・警報のための評価 指針作成 ・研修、オリエンテーション、会議用パンフレットの作成と提供 ・ダムの運用と保護、貯水池モニタリング、洪水予測と警報、 被害軽減に関わる関係機関との協力的・補完的ネットワーク の維持 ② ・灌漑システムの開発と維持 ・農家や地方政府との協働による持続的な灌漑サービスの提 供 ・灌漑のための水資源開発を行う機関への技術支援 ・灌漑開発管理による農村地域の社会・経済発展に対する支 援	・灌漑施設近代化のための、農業基盤計 画・設計・運転とメンテナンス
7	① Mr. SEYED MOHAMED BUHARY Mohamed Azhar ② D-11-00438 ③ 44 ④ 男 ⑤ スリランカ	① スリランカ灌漑局 灌漑部 灌漑地域副部長 ② 3ヶ月(現組織には'93年より勤務) ③ インド工科大学 (灌漑水管理、修士) ④ AAAA ⑤ 「コンクリート工事における品質管理」ハリヤナ大学 (インド)、2005年	① ・灌漑システムの調査、計画、設計 ・施行計画作成とモニタリング ・施行監督と進捗モニタリング ・品質管理 ・水管理関係業務 ・灌漑システムにおける水管理計画の作成、灌漑水量の記 録、収穫調査 ・放棄されたか、長期間メンテナンスされていない灌漑システ ムについての事前レポート、最終調査レポートの作成 ・農村コミュニティにおける、灌漑や農業に関連する問題の解 決 ② ・河川流域開発マスタープラン策定 ・地表水制御のための基盤施設の計画・設計・建設と管理 ・灌漑・定住プロジェクトの実施 ・中・大規模な灌漑プロジェクトの運転、メンテナンス、整備、 修理、水管理 ・排水、洪水対策、塩害防止プロジェクトの実施 ・灌漑、水力発電、治水、開拓プロジェクトの策定と詳細設計 ・灌漑システムにおける総合的自然資源・人的資源管理 ・水資源開発プロジェクトのための水力、水文、土壌構造、地 質、工学資材、土地利用研究 ・低地沿岸部への排水設備の設置 ・政府部局・機関に対する助言	・農業生産性向上のための効率的な水管理 手法 ・農業基盤整備の先進的技術活用手法 (環境と社会条件を考慮した技術、経済効 率性) ・農地調査、計画、設計、開発に関する先 進の技術的ノウハウ ・頭取工、灌漑・排水システムや関連水利 施設、農地改善のための先進的調査・計 画・設計方法 ・農地防災のための設計、農道設計 ・効果的管理組織の立ち上げと法制度 ・持続的水管理・排水システムの分野にお ける管理能力とリーダーシップの向上 ・土地均平工事や畑地農業改善のための 工事における施行管理の基本的な技術 的留意点

No	①氏名②研修員番号 ③年齢④性別 ⑤国名	①現職②現職期間 ③最終学歴(専攻) ④英語力⑤研修経験	①候補者の業務内容 ②所属先の業務内容	研修で学びたい事項
8	① Mr. EGODA KANKANAMALAGE Dharmakeerthi T. ② D-11-00441 ③ 38 ④ 男 ⑤ スリランカ	① マハウェリ開発庁 モラガハカンダ開発プロジェクト 常駐技師 ② 3年(現組織には'97年より勤務) ③ ペラデニア大学(土木工学) ④ BBBB ⑤ なし	① ・灌漑・排水システムの建設と管理、基盤施設の良好な運用 ・農民リーダーへの研修を行い、水管理の効率性向上に求められる措置を講ずること ・季節ごとの運転計画、管理計画の作成 ② ・ダム、貯水池、水路、灌漑配水システムを含むプロジェクト 関連施設の建設、管理、運転 ・土地開発と定住 ・農業整備と土地開発 ・定住後活動 ・流域管理・環境保全 ・修復、メンテナンス、ダムの安全性確保	・ダムの計画と設計 ・施行計画と積算
9	① Ms. KALAMPHASUTRA Thitikarn ② D-11-00232 ③ 43 ④ 女 ⑤ タイ	① 農業普及局 農業工学振興部 農業技師 ② 5年(現組織には'91年より勤務) ③ カセサート大学(農業機械化) ④ BBBB ⑤ 「ASEAN諸国のためのビジネスと振興計画を中心とした普及方法」農業普及研修センター(マレーシア) 2009年 「ゼロ・エミッション型農業・農村環境システム」 JICA 帯広センター(日本) 2007年 「稲作の機械播種・収穫技術」 中国農業局 2004年 「農業機械の運転とメンテナンス」 中国農業機械化科学アカデミー 2001年 「農業機械設計」 JICA筑波センター(日本) 1995年 「畑作物・果樹のプリハーベスト、ポストハーベスト技術」 イタリア 1992年	① ・農家や農家組織向上のための、土地管理に関する農業工学技術の振興と移転 ・農場レベルの基盤整備を含む、土地管理に関連する農業工学振興プロジェクト開発のための分析業務 ② ・地域の現状に最も合致する、農業機械、土地管理、農家内の基盤施設、農産物加工、物流に関する農業工学・技術による農家や農家組織、主要で進歩的コミュニティ企業の開発と振興 ・工学振興管理・調整の中核機関としての役割を果たすこと	・農家レベルの、ため池建設計画と設計の技術 ・雨水の貯蔵 ・畑作物生産の為の水管理

研修日程表

日 時	区分	研修項目	担当機関・講師(敬称略)	研修場所	宿泊地
5/16 月		来日			
5/17 火		ブリーフィング	(社)北方圏センター	帯広国際センター ブリーフィングルーム	
5/18 水		ブリーフィング・オリエンテーション			
5/19 木		オリエンテーション			
5/20 金		レポート作成準備		帯広国際センター セミナールーム2	
5/21 土		休日			
5/22 日		休日			
5/23 月	9:15~9:45	市長表敬	帯広市親善交流課	帯広市役所	
	10:30~12:00	コースオリエンテーション 行政組織の概要	帯広開発建設部(次長)日置 綾人	帯広国際センター セミナールーム3	
	13:30~16:30	インセプションレポート発表会	(独)国際協力機構 帯広国際センター	帯広国際センター セミナールーム4	
	16:30~17:00	ティーパーティー	(社)北方圏センター	帯広国際センター 会議室	
5/24 火	09:30~12:00 13:30~16:00	講義・ 実習	PCM手法 アイ・シー・ネット株式会社 佐坂 剛	帯広国際センター セミナールーム4	
5/25 水					
5/26 木					
5/27 金	09:30~16:00	討論	問題分析/目的分析 レポートの説明 (独)国際協力機構 帯広国際センター 伊藤 亜紀子		
5/28 土			休日		
5/29 日			休日		
5/30 月	09:30~11:30	講義	十勝農業の概要 (農務課長)宮田 大	帯広国際センター セミナールーム2	
	13:30~16:00		食糧事情と法体系 (土地改良情報対策官)加藤 広宣		
5/31 火	09:30~11:30	講義	十勝農業協同連合会 (専務理事)佐藤 文俊	帯広国際センター セミナールーム2	
	13:00~16:30		視察 (財)北海道農業開発公社機械センター 他		
6/1 水	09:30~12:00	講義	十勝の気象と農業水文 (帯広支店長)丸谷 聖一	帯広国際センター セミナールーム2	
	13:30~16:00		土地改良区の概要 十勝総合振興局産業振興部(調整課指導企 画係長)谷島 健一、(主査)石坂 剛		
6/2 木	09:30~11:30	講義	十勝の道路整備 帯広開発建設部 (道路計画課長)近藤 勝俊	帯広国際センター セミナールーム2	
	13:00~16:30				
6/3 金	09:30~12:00	講義	十勝の農業農村整備事業 (農業整備課長)永野 匡彦	帯広国際センター セミナールーム2	
	13:30~16:00		営農計画と事業効果 帯広開発建設部 (国土交通技官)荒木 宏範		
6/4 土			休日		
6/5 日			休日		
6/6 月	09:30~12:00	討論	レポート作成作業 (独)国際協力機構 帯広国際センター 伊藤 亜紀子	帯広国際センター セミナールーム4	
	13:30~16:30	討論	レポート作成指導1(問題/目的分析 に対する発表と質疑)		
6/7 火	09:30~11:30	講義	農地防災事業 帯広開発建設部 (帯広農業事務所長)館石 和秋	帯広国際センター セミナールーム2	
	13:00~16:30				
6/8 水	09:30~11:30	講義/ 実習	十勝の土壌(I)(概論) NPOすけっと百人会 荒金 章次 (株)ズコーシャ 総合科学研究所 農業科学室 (主任技師)丹羽 勝久、(技師)廣永 行亮	(有)テクノファーム 帯広八千代農場	
	13:00~16:00				
6/9 木	09:30~12:00	講義	十勝の土壌(II)(水分特性) NPOすけっと百人会 荒金 章次 (株)ズコーシャ 総合科学研究所 農業科学室 (主任技師)丹羽 勝久、(技師)廣永 行亮	帯広国際センター セミナールーム4	
	13:30~16:00				
6/10 金	09:30~11:30	講義	十勝の河川整備 帯広開発建設部治水課 (流域計画官)桑村 貴志	帯広国際センター セミナールーム2	
	13:00~16:30				
6/11 土			休日		
6/12 日			移動:帯広→富良野		富良野

帯広

付表-2

6/13	月	1日	視察	畑地かんがい施設	旭川開発建設部(土地改良情報対策官)青山 仁 旭川開発建設部 富良野地域農業開発事業所 富良野土地改良区	富良野→旭川	旭川
6/14	火	13:30~16:30	視察	神竜土地改良区	神竜土地改良区	神竜土地改良区	札幌
6/15	水	09:30~16:30	講義・実習	コンクリート材料とコンクリートの取扱い	共和コンクリート工業(株) 技術研究所	共和コンクリート工業(株) 技術研究所	
6/16	木			移動:札幌→帯広			帯広
6/17	金			学校訪問	十勝インターナショナル協会		
6/18	土			休日			
6/19	日			休日			
6/20	月	09:30~11:30	講義	国営農地再編整備事業	帯広開発建設部 (鹿追地域農業開発事業所長) 川合 正幸	帯広国際センター セミナールーム2	
		13:00~16:00	視察			視察先	
6/21	火	09:30~11:30	講義	十勝の保安林と治山対策	十勝総合振興局産業振興部 (林務課長)工藤 森生	帯広国際センター セミナールーム4	
		13:00~16:30	視察			視察先	
6/22	水	09:30~11:30	講義	農用地開発事業	NPOすけっと百人会 鈴木 一弘	帯広国際センター セミナールーム2	
		13:00~16:30	視察			視察先	
6/23	木	09:30~12:00	講義	農道整備事業	NPOすけっと百人会 寺端 弘勝	帯広国際センター セミナールーム2	
		13:30~16:30	視察			視察先	
6/24	金	09:30~16:00	討論	レポート作成作業	(独)国際協力機構 帯広国際センター 伊藤 亜紀子	帯広国際センター セミナールーム4	
6/25	土			休日			
6/26	日			休日			
6/27	月	09:30~12:00	講義	排水路と暗渠排水	NPOすけっと百人会 藤原 正之	帯広国際センター セミナールーム2	
		13:30~16:00	視察			視察先	
6/28	火	09:30~11:30	講義	かんがい排水事業	帯広開発建設部 (十勝南部農業開発事業所長) 熊谷 匡弘	帯広国際センター セミナールーム2	
		13:00~16:30	視察			視察先	
6/29	水	09:30~11:30	講義	畑地かんがい	帯広開発建設部 (鹿追地域農業開発事業所長) 川合 正幸	帯広国際センター セミナールーム2	
		13:00~16:00	視察			視察先	
6/30	木	09:30~11:30	講義	ダムの計画と設計	帯広開発建設部 (帯広農業事務所長)館石 和秋	帯広国際センター セミナールーム2	
		13:00~16:30	視察			視察先	
7/1	金	09:30~11:30	講義	畑地かんがい 末端施設計画と設計	NPOすけっと百人会 青沼 時雄	帯広国際センター セミナールーム2	
		13:00~16:00	視察			視察先	
7/2	土			休日			
7/3	日			休日			
7/4	月	09:30~11:30	講義	道営等農業農村整備事業の内容	十勝総合振興局産業振興部 (整備課長)坂部 浩明	帯広国際センター セミナールーム2	
		13:00~16:30	視察			視察先	
7/5	火	09:30~11:30	講義	頭首工の計画と設計	NPOすけっと百人会 小杉山 賢	帯広国際センター セミナールーム2	
		13:00~16:30	視察			視察先	
7/6	水	09:30~12:00	講義	家畜糞尿によるバイオガスプラントの事例	北海道バイオマスリサーチ(株) エネルギー調査部(次長)竹内 良曜	帯広国際センター セミナールーム2	
		13:30~16:00	講義	パイプラインの計画と設計1	NPOすけっと百人会 宮崎 健次		
7/7	木	09:30~11:30	講義	パイプラインの計画と設計2	NPOすけっと百人会 宮崎 健次	帯広国際センター セミナールーム2	
		13:00~16:00	視察			視察先	
7/8	金	09:30~12:00	講義	人工衛星による農業への活用	NPOすけっと百人会 荒金 章次 (株)ブーシェ総合科学研究所 米山 晶	帯広国際センター セミナールーム4	
		13:30~15:30		愛知用水DVD 他	(独)国際協力機構 帯広国際センター 伊藤 亜紀子		

7/9	土			休日			
7/10	日			休日			
7/11	月	9:30~10:30	講義	技術の選択と代替案の紹介	(独)国際協力機構 (国際協力専門員)金森 秀行	帯広国際センター セミナールーム2	帯広
		10:30~12:00 13:30~16:00	講義	積算とバーチャート			
7/12	火			移動:帯広→神戸			
7/13	水	10:00~12:00	視察	近畿農政局加古川水系広域農業水利 施設総合管理所	所長 柴田 一仁	近畿農政局加古川水系広域 農業水利施設総合管理所	神戸
		13:00~16:00		東播用土地利用改良区			
7/14	木			移動:神戸→名古屋			
7/15	金	10:00~16:00	視察	愛知用水土地改良区		愛知用水土地改良区	名古屋
7/16	土			移動:名古屋→帯広			
7/17	日			休日			
7/18	月			祝日			
7/19	火	09:30~12:00	討論	レポート作成作業	(独)国際協力機構 帯広国際センター 伊藤 亜紀子	帯広国際センター セミナールーム4	
		13:30~16:30	討論	レポート作成指導2(サマリーシートを 用いたアクションプランの発表と指導)	帯広開発建設部、NPOすけっと百人会		
7/20	水	09:30~12:00	実習	PD法1回目(説明と切り貼り)	跡部 雅		
		13:30~16:00					
7/21	木	09:30~12:00	講義/ 実習	土木材料の特性と活用(土質関係)	NPOすけっと百人会 荒金 章次 (株)ズコーシャ 総合科学研究所 (所長)高橋 宣之、(技師)藤崎 浩孝	(株)ズコーシャ 総合 科学研究所 土質 試験室	
		13:00~15:30					
7/22	金	09:30~11:30	講義	土木材料の特性と活用(コンクリート 関係)	NPOすけっと百人会 荒金 章次 (株)ズコーシャ 技術部(次長)井上 誠司、総 合科学研究所(地質調査室長)久保 直樹		
		13:30~16:30	実習	設計のための地盤調査			
7/23	土			休日			
7/24	日			休日			
7/25	月	09:30~11:30	講義	工事の施工計画と安全対策	NPOすけっと百人会 岩城 勝義	帯広国際センター セミナールーム2	帯広
		13:00~16:30	視察			視察先	
7/26	火	09:30~11:30	講義	出来高管理、品質管理	NPOすけっと百人会 小笠原 武	帯広国際センター セミナールーム2	帯広
		13:00~16:30	視察			視察先	
7/27	水	09:30~11:30	講義	事業実施と環境 (生態系含む)対策	NPOすけっと百人会 荒金 章次 (株)ズコーシャ 環境評価センター (自然環境調査室長)堤 公宏	帯広国際センター セミナールーム2	帯広
		13:00~16:30	視察			視察先	
7/28	木	09:30~12:00 13:30~16:00	実習	PD法2回目(写真貼付と説明文作成)	跡部 雅	帯広国際センター セミナールーム4	
7/29	金	09:30~12:00 13:30~16:00	実習	PD法3回目(製本と発表)	跡部 雅		
7/30	土			休日			
7/31	日			休日			
8/1	月	09:30~12:00	講義	農業試験研究機関と農業機械	(独)農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター芽室研究拠点(研 究調整役) 森 元幸	北海道農業研究セン ター芽室研究拠点	
		13:00~16:00	講義・視察				
8/2	火	09:30~12:00	講義	広域的連携	(財)十勝圏振興機構 (事務局長) 中尾 啓伸	財団法人 十勝圏振興機構	
		14:00~16:00	視察	農産物加工施設	カルビーポテト(株)	カルビーポテト(株) 帯広工場	
8/3	水	09:30~11:30	講義	開かれた農村とファームイン	十勝総合振興局産業振興部 (農務課農業支援係長) 行天 真人	帯広国際センター セミナールーム2	帯広
		13:00~17:00	視察			視察先	
8/4	木			インテリムレポート発表会リハーサル		オリエンテーションルーム	
8/5	金	11:00~12:00		評価会	(独)国際協力機構 帯広国際センター	会議室	
		13:30~16:30		インテリムレポート発表会	(独)国際協力機構 帯広国際センター、(社)北方圏センター	オリエンテーションルーム	
		16:30~17:00		閉講式	(独)国際協力機構 帯広国際センター	セミナールーム4	
		17:00~18:00		閉講パーティー	(独)国際協力機構 帯広国際センター	会議室	
8/6	土			帰国日			

年度別受入実績表

1. 応募／選定（受入）人数

	21年度	22年度	23年度	累計
応募数	8名	15名	11名	34名
受入数	8名	10名	9名	27名

2. 研修員の出身国

○男性 ●女性

国名	21年度	22年度	23年度	累計
(アジア地域)				
スリランカ	●○○	○●	○○	7
ミャンマー	○	○○	○	4
フィリピン	○	○	○○	4
カンボジア	○○	○	○○	5
タイ		○	●	2
(中南米地域)				
ペルー				
(アフリカ地域)				
マラウイ	●	○○	●	4
(欧州地域)				
ウクライナ		○		1
計	5カ国 8名	7カ国 10名	6カ国 9名	7カ国 27名